

SilkCentral Test Manager 2011

リリースノート

Borland[®]
(A MICRO FOCUS COMPANY)

 **MICRO**[®]
FOCUS

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus IP Development Limited 2011. All rights reserved.
SilkCentral Test Manager は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでい
ます, Copyright 2011 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited ま
たはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

目次

SilkCentral Test Manager 2011 リリース ノート	4
SilkCentral Test Manager 2011 の新機能	4
新しいユーザー インターフェイス	4
[タイムライン] タブ	4
Excel に対するテストのインポートとエクスポート	4
未実行 ステータスで手動テストを終了する	4
統合の強化	5
Apache Tomcat 7.0 のサポート	5
Microsoft SQL Server のオプティミスティック ロック モード	5
パフォーマンスの強化	5
PDF としてダウンロード	5
要件にフィルタを適用する	6
実行計画にフィルタを適用する	6
実行計画の割り当て済み手動テストを印刷する	6
2011 年にサポートされなくなる機能について	6
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	6
システム要件と事前要件	8
解決済みの問題	10
既知の問題	10

SilkCentral Test Manager 2011 リリースノート

バージョン 2011

2011 年 6 月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Test Manager インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

SilkCentral Test Manager 2011 の新機能

SilkCentral Test Manager 2011 (Test Manager) では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

新しいユーザー インターフェイス

Test Manager のユーザー インターフェイス (UI) は、さらに使いやすくなりました。ナビゲーション ツリーとワークフロー バーは新しいメニューに置き換えられ、Test Manager の拡張機能は、包括的なワークフローにバンドルされました。その他の情報については、「[ユーザー インターフェイス \(UI\) の概要](#)」を参照してください。

Test Manager の機能領域の新しいドキュメント ビューには、拡張されたカスタマイズ機能があります。

カスタム要件プロパティ

要件 領域の [ドキュメント ビュー](#) で、カスタム要件プロパティが列として表示されるようになりました。ドキュメント ビュー の設定は、ユーザーおよびプロジェクトそれぞれに対して個別に保存されます。

[タイムライン] タブ

テスト実行の結果 ダイアログ ボックスの新しい **タイムライン** タブを使用すると、output.xml ファイル、ログエントリとメッセージ、および結果ファイルの内容が合成して表示されるため、テスト実行の簡単な結果分析およびエラー分析を行えます。このビューでは、時系列に沿ってデータがグリッド表示され、必要に応じてフィルタを適用できます。

Excel に対するテストのインポートとエクスポート

Test Manager テストの Excel からのインポートが拡張され、既存の Test Manager テストをエクスポートし、Excel で編集し、Test Manager にインポートして戻すことができます。

未実行 ステータスで手動テストを終了する

手動テストの終了時に、UI または Manual Testing Client の一方または両方で、ステータスに **未実行** が割り当てられたテストの処理方法を定義する必要があります。**実行の終了** ダイアログ ボックスの **ステータス** リストから、**ステータス '未実行' を変更しない** を選択することによって、ステータスを **未実行** のままにするよう選択できます。

統合の強化

Rally

プロジェクト管理ツール Rally を Test Manager と統合し、Rally でユーザー ストーリーを定義できるようになりました。このユーザー ストーリーは、Test Manager での要件として使用できます。次に、Test Manager でテストを作成し、これらの要件をカバーできます。作成したテストを更新し、Rally にある該当するユーザー ストーリーに変更を加えるには、要件の同期をとります。

SilkPerformer

Test Manager では、SilkPerformer から Test Manager のファイルプールへの LTZ ファイルのアップロードはサポートされなくなりました。SilkPerformer メニューで **プロジェクトを Test Manager にアップロード** をクリックすると、SilkPerformer プロジェクトを Test Manager にアップロードできます。

Apache Tomcat 7.0 のサポート

Test Manager では、Apache Tomcat 7.0 をサポートするようになりました。

Microsoft SQL Server のオプティミスティック ロックモード

SilkCentral Test Manager は、Microsoft SQL Server 2005 および Microsoft SQL Server 2008 のオプティミスティック ロックモードをサポートします。このモードを有効化すると、読み込み操作が、同時発生した書き込み操作の完了を待機しなくなります。オプティミスティック ロックによって、データベースの応答時間が改善され、読み取り操作で発生するデッドロックを回避することができます。詳細については、Microsoft SQL Server のドキュメントを参照してください。

SilkCentral Test Manager 2011 で作成した新しいデータベースでは、オプティミスティック ロックモードがデフォルトで有効化されます。以前のバージョンの SilkCentral Test Manager で作成したデータベースに対しては、データベース管理者として次のステートメントを実行して、READ_COMMITTED_SNAPSHOT データベース オプションを設定することによって、このモードを有効化できます。

```
ALTER DATABASE {database name} SET READ_COMMITTED_SNAPSHOT ON;
```



注: このステートメントを実行する際には、実行サーバー以外の SilkCentral Test Manager が実行されておらず、データベースに他のクライアントが接続されていないことを確認してください。また、データベース オプション ALLOW_SNAPSHOT_ISOLATION も有効化する必要があります。

パフォーマンスの強化

Test Manager 全体で、以下のパフォーマンスの強化が行われました。

ドキュメント ビューのパフォーマンスの強化

ドキュメント ビューの読み込みと更新がより高速になりました。

PDF としてダウンロード

要件および実行ツールバーにある新しいツールバー機能 **PDF としてダウンロード** を使用すると、**要件** または **実行計画** ツリーに現在表示されているすべてのノードが含まれる PDF を生成し、ダウンロードすることができます。

要件にフィルタを適用する

ドキュメントビューでは、要件ツリーの任意のノードにフィルタを適用すると、そのノードとすべての子ノードのみを表示できるようになります。要件ツリーにフィルタを適用した場合、テストの合計はフィルタが適用された要件にのみ基づきます。

実行計画にフィルタを適用する

実行計画ツリーの任意のノードにフィルタを適用すると、そのノードとすべての子ノードのみを表示できるようになります。実行計画ツリーにフィルタを適用した場合、実行計画の合計はフィルタが適用された実行計画にのみ基づきます。新しいフィルタ機能を使用すると、フィルタが適用された実行計画サブセットの実行時間の見積もりを取得できます。この機能拡張によって、ドキュメントビューを使用し、実行計画を整理できます。

実行計画の割り当て済み手動テストを印刷する

実行計画領域の詳細ビューで、実行計画に割り当てられたすべての手動テストについての情報を印刷することができるようになりました。

2011年にサポートされなくなる機能について

SilkTest テスト計画のアップロード

SilkTest および Test Manager の将来のリリースでは、SilkTest から Test Manager への計画のアップロードはサポートされなくなります。SilkCentral Test Manager 2009 で SilkTest テスト計画テストタイプが導入されたため、SilkTest から Test Manager に計画をアップロードする必要がなくなり、またこの操作は推奨されなくなりました。この新しいテストタイプを使用することによって、SilkTest で作成される計画ファイル構造が SilkTest テスト計画ファイルの実行に合わせて動的に維持管理されるため、メンテナンスの労力が軽減されます。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Test Manager 2011 がテストされたソフトウェア、および Test Manager がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

アプリケーション、フロントエンド、実行、およびチャートの各サーバーは、特に記載がない場合、32 ビットオペレーティングシステムの構成で検証されています。64 ビットの構成もサポートされますが、サービスが 32 ビット JVM に基づいているため、パフォーマンスは向上しません。

サポートされるオペレーティングシステム

- Windows XP サービスパック 3
- Windows XP 64 ビット サービスパック 1 (実行サーバー)
- Windows Server 2003 R2 サービスパック 2
- Windows Vista Ultimate 32 ビット (実行サーバー)
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2 サービスパック 1 64 ビット
- Windows 7 32 ビット/64 ビット サービスパック 1 (実行サーバー)

サポートされる Linux オペレーティングシステム

- Ubuntu 8.10

- Ubuntu 8 サーバー
- Redhat Enterprise Linux 5
- Debian 4 Etch 4.1.2-23
- Suse Linux 9.1

サポートされる Web ブラウザ

- Internet Explorer 8.x
- Internet Explorer 9.x
- Firefox 3.x
- Firefox 4.x

サポートされる Web サーバー

- IIS 6 32 ビット/64 ビット
- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- Micro Focus スタンドアロン Web サーバー (Tomcat)

サポートされるデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2005 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2005 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2008 R2
- Oracle 10g (バージョン 10.2.0.4)
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.1)

サポートされる統合された Micro Focus ソフトウェア

- 2008 SP1
- SilkPerformer 2008 R2
- SilkPerformer 2009
- SilkPerformer 2010
- SilkPerformer 2010 R2
- SilkTest 2008
- SilkTest 2008 R2
- SilkTest 2009
- SilkTest 2009 R2
- StarTeam 2006
- StarTeam 2008
- Caliber DefineIT 2008
- CaliberRDM 2010
- TestPartner 6.3
- SilkTest Workbench 2010

サポートされる統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Bugzilla 3.2.5
- Bugzilla 3.4.7
- Bugzilla 3.6.1
- IBM Rational ClearQuest 2003.06.15.734.000
- IBM Rational Requisite Pro 7.0.0.0
- JUnit 4.4 以降
- SAP Solution Manager 7.1

- SnagIT 8.0
- SnagIT 8.1
- SnagIT 8.2.1
- Subversion 1.5.x
- Subversion 1.6.x
- VMware Lab Manager 3.0
- VMware vCenter Lab Manager 4.0
- VMware vCenter Lab Manager 4.0.3
- Telelogic Doors 8.0
- Telelogic Doors 8.2
- FitNesse 20070619
- FitNesse 20081201
- VersionOne Enterprise Edition
- Rally
- Compuware Quality Manager (Changepoint 2009 または Changepoint 2009 SP2)
- JIRA 3.13.5
- JIRA 4.0

サポートされる Java

- Java Software Development Kit (SDK) 1.6 以降
- Java Runtime Environment (JRE) 1.6 以降
- Java Runtime Environment (JRE) 1.6 以降、32 ビット (Manual Testing Client Webstart 用)


システム要件と事前要件

サーバー システムの要件

アプリケーション、フロントエンド、実行、およびチャートの各サーバーは、特に記載がない場合、32 ビットオペレーティングシステムの構成で検証されています。64 ビットの構成もサポートされますが、サービスが 32 ビット JVM に基づいているため、パフォーマンスは向上しません。

システム対象	要件
CPU	Pentium IV 以上、または x86 と互換性のある同等のプロセッサ
メモリ	最低 2 GB
空きディスク容量	最低 10 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit。Manual Testing Client と実行サーバーは低帯域幅の接続で接続できます。
フロントエンド、アプリケーション、およびチャートの各サーバーのオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Windows XP サービス パック 2 以降 • Windows XP 64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー) • Windows Server 2003 R2 サービス パック 2 • Windows Server 2008 • Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
実行サーバーのオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Windows XP サービス パック 2 以降

システム対象	要件
	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP 64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー) Windows Server 2003 R2 サービス パック 2 Windows Vista Ultimate Edition 32 ビット Windows 7 32 ビット サービス パック 1 Windows 7 64 ビット サービス パック 1 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
Web サーバー	<ul style="list-style-type: none"> Tomcat IIS Apache、ロード バランサとして使用
データベース管理システム	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft SQL Server 2005 サービス パック 2 Microsoft SQL Server 2008 R2 Oracle 10g (バージョン 10.2.0.4) Oracle 11g (バージョン 11.2.0.1)
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

 **注:** パフォーマンスを向上させるため、データベース システムをスタンドアロン システムとして別個にインストールすることをお勧めします。また、代わりに、MSDE/SQL Server を一定量のメモリのみ使用するように構成して、他のアプリケーションと最小限のリソース競合ですむようにする方法もあります。Test Manager をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Test Manager の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーションサーバー、Web サーバー、チャートサーバー、実行サーバー、および、データベース システムなどが含まれます。この方法については、『*SilkCentral Test Manager 2011* インストール ヘルプ』の「カスタム インストール」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Test Manager の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象のアプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、SilkPerformer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、SilkTest の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 1024 MB のメイン メモリが推奨されます。

仮想化

Test Manager は仮想インフラストラクチャ環境 (たとえば、VMware ESX Server) での実行がテストされています。最適なパフォーマンスのためには、物理ハードウェアを使用することをお勧めします。

クライアント側のシステム要件

システム対象	要件
プロセッサ	Pentium IV 以上、または x86 と互換性のある同等のプロセッサ
メモリ	1 GB
空きディスク容量	1 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer 8.x• Internet Explorer 9.x• Firefox 3.x• Firefox 4.x

解決済みの問題

以下の問題が、SilkCentral Test Manager 2011 において修正されました：

問題番号	説明	修正が適用されたバージョン	メモ
577862	テストに見積もり時間がある場合でも、 アクティビティ ページの 現在の実行 グリッドには、手動テストの 残り時間 列には常に 不明 と表示されます。	2010 R2	修正済み。

既知の問題

このセクションでは、Test Manager における既知の問題について説明します。

Test Manager の追加の既知の問題とそのソリューションは、<http://kb.microfocus.com/> の Micro Focus Knowledge Base に文書化されています。